

平成27年第3回 筑紫野市議会定例会（6月）

提出議案について

平成27年第3回筑紫野市議会定例会（会期：6月5日から7月3日まで）に次の議案を提案しましたので、その内容をお知らせします。

| | |
|---|---|
| 同意第2号 | 筑紫公平委員会委員の選任について |
| <p>筑紫公平委員会は、地方公務員法第7条第4項の規定に基づき、筑紫地区4市1町等により共同設置しており、職員に対する不利益な処分についての不服申し立てに対する裁決を講ずることなどを目的に3名の委員をもって組織されているもので、4市1町の輪番により、選出しているところです。</p> <p>同委員会委員のうち、松本啓輔氏が本年7月19日付けで任期満了となりますので、その後任として、筒井陽雄氏を選任することにつきまして、筑紫公平委員会設置規約第3条第1項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。</p> | |
| 同意第3号 | 筑紫野市監査委員の選任について |
| <p>本件は、議会選出の宮原智美氏が、本年5月24日をもって任期満了となりましたので、その後任として佐藤政志氏を選任いたしたく、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるものです。</p> | |
| 議案第41号 | 筑紫野市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| <p>本件は、家庭系廃棄物の不燃物用指定袋の小袋を導入するため、販売価格等を規定する必要があることから、条例の一部を改正するものです。</p> | |
| 議案第42号 | 市道路線の認定について |
| <p>本件は、福岡県那珂県土整備事務所において施工予定の一般県道山口原田線バイパス工事完了後に、筑紫野市へ移管される予定の一般県道山口原田線の一部を路線番号9135号として、あらかじめ認定するものです。</p> <p>この道路を道路法第8条第1項の規定に基づき、市道として認定するため、同条第2項の規定に基づき議会の議決を求めるものです。</p> | |
| 議案第43号 | 平成27年度筑紫野市一般会計予算について |

本予算につきましては、歳入歳出の総額を、対前年度比1.9%、6億百万円減の308億7千万円とするものです。

歳出予算の主な内容は、民生費につきましては、障害福祉サービスの利用増による介護給付等事業費や私立保育所運営委託事業費などの増額を見込んでおりますが、二日市保育所大規模修繕、児童福祉施設整備の事業完了などによりまして、対前年度比1.2%、1億6千32万6千円の減額となっております。

総務費につきましては、二日市東コミュニティセンター建設事業費の約4億600万円の増額や筑紫野市庁舎建設検討事業費などの増額によりまして、対前年度比13.3%、4億1千59万6千円の増額となっております。

土木費につきましては、筑紫駅西口土地区画整理事業の継続に伴うもののほか、紫踏切改良事業費や公営住宅等長寿命化計画事業費などの増額によりまして、対前年度比5.3%、1億7千22万9千円の増額となっております。

衛生費につきましては、飲料水供給施設整備の事業完了などによりまして、対前年度比2.5%、7千499万9千円の減額となっております。

教育費につきましては、小中学校の非構造部材耐震化事業費などの増額を見込んでおりますが、筑紫小学校プール改築の事業完了などによりまして、対前年度比10%、2億9千569万6千円の減額となっております。

次に、歳入予算の主な内容は、市税につきましては、税率の変更により、法人市民税が約2億3千200万円の減額、評価替えにより固定資産税が約1億2千900万円の減額などを見込んでおりますが、個人所得の増加に伴う個人市民税約4億6千300万円の増額などを見込みまして、市税全体では、対前年度比0.6%、7千938万8千円の増額となっております。

地方交付税につきましては、国の地方財政計画による減などによりまして、対前年度比2.1%、7千831万3千円の減額となっております。

国県支出金につきましては、障害者自立支援給付費負担金、社会資本整備総合交付金、公立学校施設整備費国庫補助金などの増額により、全体として、対前年度比3%、2億1千896万6千円の増額となっております。なお、「債務負担行為」につきましては、第2表、「地方債」につきましては、第3表のとおりです。

また、「一時借入金の最高額」は60億円に、「歳出予算の流用」につきましては、第5条に規定をしているところです。